



2018年 冬期スケジュール 国際定期便は開港以来初の週1,400便超 中長距離路線が引き続き増便、中国方面もさらに拡充

関西エアポート株式会社は、国際定期便の2018年冬期スケジュールについて、東南アジア路線の新規就航や増便に加え、中国方面のネットワークのさらなる拡充もあり、開港以来初めて週1,400便を超え、過去最高の週1,451便を見込んでいます。(3月ピーク時点)。2017年冬期スケジュールに比べ週+95便、2018年夏期スケジュールに比べ週+69便と大幅に増加しております。国際旅客便数は週1,309便で過去最高、国際貨物便数は週142便で冬期スケジュールとして過去6番目の便数となっております。

国際旅客便については、東南アジア方面において、ベトナム航空(VN)がダナン線を開設し週7便就航、同じくベトナム路線では、ベトナムのLCCであるベトジェットエア(VJ)が新規参入し11月からハノイ線を週7便、12月からホーチミン線を週7便で運航します。また、タイ路線では、タイのLCCであるノックスクート(XW)が新規参入し、バンコク(ドンムアン)線を週4便運航します。これにより、東南アジア路線は週177便(2017冬期比:+24便)となります。

ヨーロッパ方面では、昨冬は週5便運航であったフィンランド航空(AY)が、今冬はヘルシンキ線を週7便のデイリー運航、エールフランス航空(AF)、KLMオランダ航空(KL)、ルフトハンザドイツ航空(LH)はそれぞれ昨冬より週1便ずつ増便します。これにより、ヨーロッパ路線は週26便(2017冬期比:+5便)となります。中東方面では、エミレーツ航空がドバイ線の運航機材を縦2階建ての大型旅客機エアバスA380に変更することで、提供座席数が大幅に増加します。また、オセアニア方面では、12月からカンタス航空(QF)がシドニー線を週1便増便するなど、中長距離路線において、ネットワークが拡大します。

また、近距離路線においても、中国方面で、厦門航空(MF)が杭州線を就航し週5便運航、山東航空(SC)が済南線を週7便増便、天津航空(GS)が天津線を増便し週14便の1日2便運航となるなど、中国本土路線は週369便(2017冬期比:+33便)となります。

国内旅客便については、ジェットスター・ジャパン(GK)の関西=熊本線が10月27日から運航を開始、さらに12月からは関西=高知線も開設されます。関西=熊本線は2016年3月以来、3年ぶりの路線再開、関西=高知線はLCCでの直行便就航は初めてで、路線としては、2009年10月以来、9年ぶりの路線再開となります。

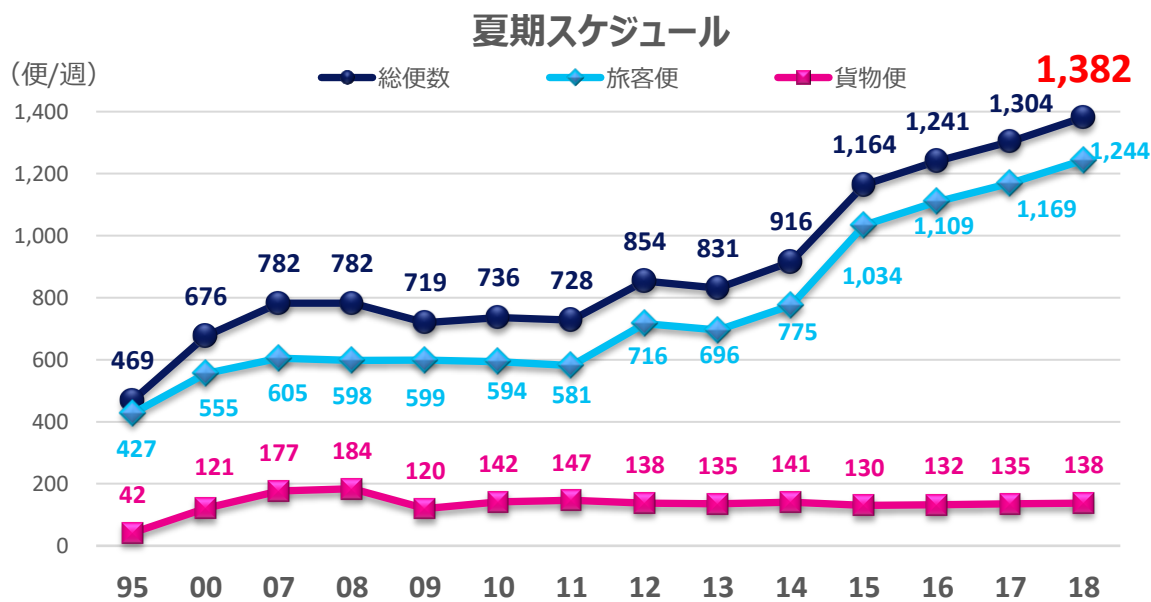
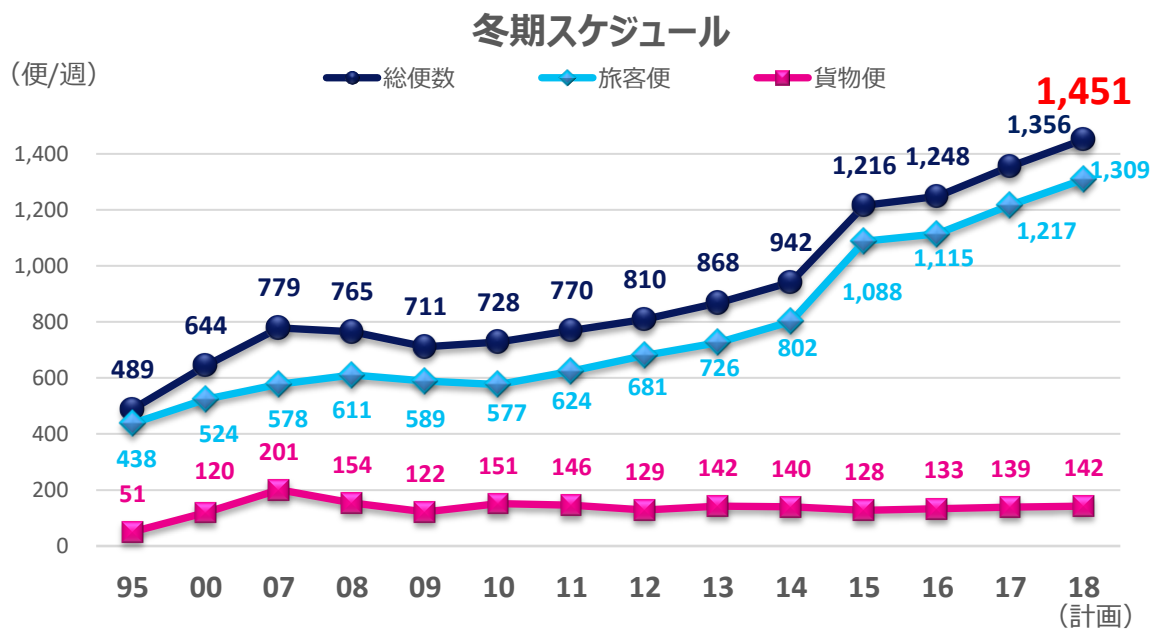
なお、国際旅客便におけるLCC便数は週517便(2017冬期比:+43便)となり、国際旅客便のおよそ4割がLCC便となっております。11月からは、韓国のLCCであるチェジュ航空(7C)がT2での運航を開始します。

関西空港の国内旅客便に占めるLCC便数は、1日41便(2017年12月比:+2便)となり、全体の半数以上がLCC便数となっております。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム
Tel : 072-455-2201

国際定期便 就航便数の推移



2018年冬期スケジュール 定期便の主な増便等

● 国際旅客便

	航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
F S C	 ベトナム航空	ダナン	0→7	7	10月28日から	関西＝ダナン線が直行便として就航します。今回の就航で同社の関西国際空港とベトナムを結ぶ路線はホーチミン、ハノイに続き3都市目となります。
	 廈門航空 XIAMENAIR 廈門航空	杭州	0→5	5	10月28日から	関西＝杭州線が直行便として就航します。 廈門航空運航の関西＝杭州線は、10年ぶりとなります。
	 山東航空 SHANDONG AIRLINES 山東航空	済南	0→7	7	10月28日から	関西＝済南＝昆明線に加え、関西＝済南線の直行便が拡充されます。
	 天津航空 Tianjin Airlines 天津航空	天津	7→14	7	10月28日から	関西＝天津線が拡充されます。
	 チャイナエアライン CHINA AIRLINES チャイナエアライン	高雄	9→11	2	10月28日から	関西＝高雄線が拡充されます。
	 カンタス航空 QANTAS カンタス航空	シドニー	3→4	1	12月9日から	関西＝シドニー線が拡充されます。
	 エミレーツ航空 Emirates エミレーツ航空	ドバイ	7→7	-	10月28日から	関西＝ドバイ線に総2階建ての大型旅客機A380が導入され、提供座席数が大幅に増加します。
 シンガポール航空 SINGAPORE AIRLINES シンガポール航空	シンガポール	14→14	-	10月28日から	関西＝シンガポール線に総2階建ての大型旅客機A380が導入され、提供座席数が大幅に増加します。	
L C C	 香港エクスプレス HK express 香港エクスプレス	香港	32→40	8	10月28日から	関西＝香港線が拡充されます。
	 ノックスコート nokscoot FLY AWESOME ノックスコート	バンコク (ドムアン)	0→4	4	10月29日から	関西＝バンコク(ドムアン)線が直行便として就航します。ノックスコートの関西国際空港への就航は今回が初となります。
	 ベトジェット vietjet Air.com ベトジェット	ハノイ	0→7	7	11月8日から	関西＝ハノイ線が直行便として就航します。ベトジェットの定期便就航は、本路線が日本で初めての就航となります。
	 ベトジェット vietjet Air.com ベトジェット	ホーチミン	0→7	7	12月14日から	関西＝ホーチミン線が直行便として就航します。
	 チェジュ航空 JEJU air チェジュ航空	務安	5→7	2	12月15日から	関西＝務安線が拡充されます。

● 国際貨物便

	航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
	 シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ silkway west airlines	バクー	1→2	1	9月29日から	関西＝バクー直行便が拡充されます。
	 フェデラルエクスプレス FedEx Express	-	55→58	3	10月28日から	週3便 増便されます。
	 中国国際貨物航空 AIR CHINA CARGO 中国国際貨物航空	上海	7→8	1	10月12日から	関空＝上海線が拡充されます。

● 国内旅客便

	航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
	 ジェットスター・ジャパン Jetstar	関西＝熊本	0→7	7	10月27日から	関西＝熊本線が直行便として就航します。関西＝熊本線は2016年3月以来3年ぶりの運航となります。
	 ジェットスター・ジャパン Jetstar	関西＝高知	0→7	7	12月19日から	関西＝高知線が直行便として就航します。関西＝高知線のLCCでの直行便就航は初めてとなります。

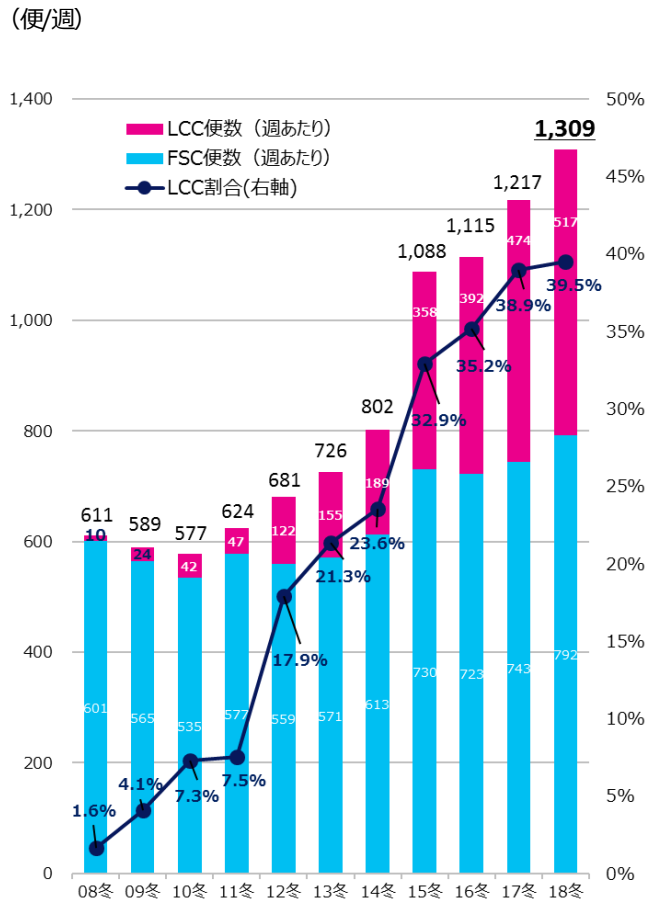
* 関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれる。

国際定期旅客便における LCC の概況及び方面別便数

◇国際線 LCC 内訳：21 社 27 都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・エアージェン (計81便)	ソウル (仁川)	28
	釜山	7
	香港	18
	台北	14
	高雄	7
上海	7	
ジェットスター・ジャパン	香港	7
パナシエ・エア	台北	7
チェジュ航空 (計72便)	ソウル (仁川)	28
	ソウル (金浦)	14
	釜山	10
	グアム	6
	清州	7
務安	7	
エアプサン (計35便)	釜山	21
	大邱	14
イースター航空 (計26便)	ソウル (仁川)	14
	釜山	7
	清州	5
ジンエアー (計35便)	ソウル (仁川)	21
	釜山	14
ティーウェイ航空 (計56便)	ソウル (仁川)	21
	大邱	14
	グアム	7
	済州	7
釜山	7	
エアソウル	ソウル (仁川)	14
春秋航空 (計27便)	上海	14
	武漢	2
	天津	4
	重慶	3
	西安	1
	揚州	2
	洛陽 (揚州経由)	1
香港エクスプレス	香港	40
タイガーエア台湾 (計17便)	台北	14
	高雄	3
セブ パシフィック航空	マニラ	7
ジェットスター・パシフィック航空 (計8便)	ハノイ	4
	ダナン	4
ベトジェットエア (計14便)	ハノイ	7
	ホーチミン	7
タイ・エアアジアX	バンコク (ドンムアン)	14
ノックスクート	バンコク (ドンムアン)	4
エアアジアX (計14便)	クアラルンプール	7
	ホノルル	7
ジェットスター・アジア航空 (計19便)	シンガポール (台北経由)	11
	シンガポール (マニラ経由)	5
	シンガポール (クラーク経由)	3
	シンガポール (バンコク経由)	3
スクート (計15便)	シンガポール (バンコク経由)	4
	シンガポール (高雄経由)	4
	シンガポール	4
ジェットスター航空	ホノルル	4
	ケアンズ	5
計		517

◇国際定期旅客便数の推移



◇方面別便数内訳 (国際定期旅客便)

	15冬 (都市数)	16夏 (都市数)	16冬 (都市数)	17夏 (都市数)	17冬 (都市数)	18夏 (都市数)	18冬 計画 (都市数)	構成比
韓国	252 (4)	255 (4)	281 (4)	327 (4)	355 (4)	360 (6)	362 (6)	27.7%
中国	329 (35)	327 (35)	330 (35)	326 (32)	336 (32)	346 (32)	369 (32)	28.2%
香港・マカオ	104 (2)	108 (2)	114 (2)	133 (2)	131 (2)	133 (2)	143 (2)	10.9%
台湾	165 (3)	165 (3)	148 (3)	134 (3)	138 (3)	128 (3)	135 (3)	10.3%
東南アジア	121 (9)	128 (9)	139 (9)	137 (10)	153 (10)	149 (10)	177 (11)	13.5%
北米	35 (3)	48 (5)	33 (3)	46 (4)	41 (3)	56 (4)	53 (3)	4.0%
*うちハワイ	*21	*1	*21	*1	*21	*1	*25	*1
欧州	29 (5)	33 (5)	23 (5)	26 (4)	21 (4)	28 (4)	26 (4)	2.0%
オセアニア・グアム	38 (5)	35 (3)	37 (4)	28 (3)	32 (5)	33 (4)	34 (5)	2.6%
その他	15 (4)	10 (3)	10 (3)	12 (4)	10 (3)	11 (4)	10 (3)	0.8%
合計	1,088 (70)	1,109 (69)	1,115 (68)	1,169 (66)	1,217 (66)	1,244 (69)	1,309 (69)	100.0%
本邦社	4社	5社	5社	5社	5社	5社	5社	
外航社	52社	52社	51社	53社	53社	54社	55社	
運航会社	56社	57社	56社	58社	58社	59社	60社	

** その他方面には、中東、インド、極東アジアを含む。

国際定期便 航空会社別就航便数

国・地域名	航空会社	2017年冬期 10/29 ~ 3/24 2018年3月 (ピーク)			2018年夏期 3/25 ~ 10/27 2018年8月 (ピーク)			2018年冬期 10/28 ~ 3/30 2019年3月 (ピーク)			
		実績			実績			計画			
		旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	
日本	日本航空	49		49	56		56	56		56	
	全日本空輸	49	10	59	49	10	59	49	8	57	
	ピーチ・アビエーション	78		78	80		80	81		81	
	ジェットスター・ジャパン	6		6	7		7	7		7	
	パン・アシア	7		7	7		7	7		7	
日本貨物航空		5	5								
アメリカ	ユナイテッド航空	16		16	14		14	14		14	
	デルタ航空	7		7	7		7	7		7	
	ハワイアン航空	7		7	7		7	7		7	
	フェデラル エクスプレス		52	52		55	55		58	58	
	ユナイテッド パーセル サービス		16	16		16	16		16	16	
カナダ	エア・カナダ				6		6				
ドイツ	ルフハンザ ドイツ航空	6		6	7		7	7		7	
	ルフハンザ・カーゴ		2	2		2	2		2	2	
オランダ	KLMオランダ航空	6		6	7		7	7		7	
フランス	エールフランス航空	4		4	7		7	5		5	
	エア カレドニア インターナショナル	2		2	2		2	2		2	
イタリア	カーゴルクス イタリア		3	3		3	3		3	3	
フィンランド	フィンランド航空	5		5	7		7	7		7	
アラブ首長国連邦	エミレーツ航空	7		7	7		7	7		7	
アゼルバイジャン	シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ		1	1		1	1		2	2	
ロシア	S7航空				1		1				
韓国	大韓航空	60	3	63	53	3	56	60	3	63	
	アシアナ航空	39	2	41	42	2	44	42	2	44	
	チェジュ航空	55		55	77		77	72		72	
	エアプサン	35		35	35		35	35		35	
	イースター航空	28		28	22		22	26		26	
	ジンエア	42		42	35		35	35		35	
	ティーウェイ航空	49		49	54		54	56		56	
	エアソウル	19		19	21		21	14		14	
	中国	中国国際航空	45		45	45		45	45		45
		中国国際貨運航空		6	6		7	7		8	8
中国東方航空		60		60	60		60	63		63	
中国貨運航空			4	4		4	4		5	5	
中国南方航空		45		45	47		47	47		47	
厦門航空		8		8	10		10	15		15	
上海航空		7		7	7		7	7		7	
金鵬航空			5	5		5	5		5	5	
中国貨運郵政航空			5	5		5	5		5	5	
深川航空		25		25	25		25	25		25	
山東航空	14		14	14		14	21		21		
春秋航空	27		27	27		27	27		27		
上海吉祥航空	28		28	34		34	35		35		
天津航空	7		7	7		7	14		14		
北京首都航空	2		2	2		2	2		2		
奥凱航空	2		2	2		2	2		2		
四川航空	3		3	3		3	3		3		
香港	キャセイパシフィック航空	42	4	46	42	4	46	43	4	47	
	香港エクスプレス	28		28	32		32	40		40	
	香港航空	28		28	21		21	21		21	
マカオ	エアホンコン		6	6		6	6		6	6	
	マカオ航空	7		7	7		7	7		7	
台湾	エバー航空	35	2	37	35	2	37	35	2	37	
	チャイナ エアライン	39	13	52	34	13	47	41	13	54	
フィリピン	タイガーエア台湾	21		21	17		17	17		17	
	フィリピン航空	21		21	21		21	21		21	
ベトナム	セブ パシフィック航空	6		6	7		7	7		7	
	ベトナム航空	14		14	14		14	21		21	
タイ	ジェットスター・パシフィック航空	8		8	8		8	8		8	
	ベトジェットエア							14		14	
タイ	タイ国際航空	14		14	14		14	14		14	
	タイ・エアアジアX	14		14	14		14	14		14	
マレーシア	ノックアウト							4		4	
	マレーシア航空	7		7	7		7	7		7	
シンガポール	エアアジアX	15		15	11		11	14		14	
	シンガポール航空	14		14	14		14	14		14	
インドネシア	ジェットスター・アジア航空	16		16	18		18	19		19	
	スクート	14		14	15		15	15		15	
インド	ガルーダ・インドネシア航空	10		10	7		7	9		9	
オーストラリア	エアインディア	3		3	3		3	3		3	
オーストラリア	カンタス航空	3		3	3		3	4		4	
	ジェットスター航空	6		6	7		7	5		5	
ニュージーランド	ニュージーランド航空	3		3			3			3	
合計	週間就航便数	1,217	139	1,356	1,244	138	1,382	1,309	142	1,451	
	1日あたり就航便数	173.9/日	19.9/日	193.7/日	177.7/日	19.7/日	197.4/日	187.0/日	20.3/日	207.3/日	
	運航会社数	58社	17社	69社	59社	16社	69社	60社	16社	70社	
	就航国(地域)数	19ヶ国	21ヶ国	23ヶ国	20ヶ国	21ヶ国	25ヶ国	19ヶ国	21ヶ国	23ヶ国	
	就航都市数	66都市	45都市	82都市	69都市	45都市	86都市	69都市	44都市	84都市	

* 関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれる。

* 本資料中、共同運航便(コードシェア便)は運航会社で整理。

* 上記表では、往復1便未満の便数はカウントしていない。

前年同期比較（17年冬期/18年冬期）及び前期比較（18年夏期/18年冬期）

方面	航空会社名	17年冬期（実績）→18年冬期（計画）		18年夏期（実績）→18年冬期（計画）	
		主な増減便内訳（ピーク時点）		主な増減便内訳（ピーク時点）	
韓国			+7		+2
	大韓航空			仁川	+7
	アジアナ航空	仁川	+3		
	チエジュ航空	仁川	+1	仁川	-2
	チエジュ航空	釜山	-4	釜山	-4
	チエジュ航空	清州	+7		
	チエジュ航空	務安	+7	務安	+2
	イースター航空	仁川	-7	仁川	-1
	イースター航空	清州	+5	清州	+3
	イースター航空			釜山	+2
	ジンエアー	仁川	-7		
	ティーウェイ航空	仁川	+4	仁川	+2
	ティーウェイ航空	大邱	+3		
	エアソウル	仁川	-5	仁川	-7
中国			+33		+23
	中国東方航空	大連	+3	大連	+3
	中国南方航空	大連	+2		
	厦門航空	杭州	+5	杭州	+5
	厦門航空	福州	+2		
	山東航空	済南	+7	済南	+7
	上海吉祥航空	南京	+7	南京	+1
	天津航空	天津	+7	天津	+7
香港・マカオ			+12		+10
	ピーチ・アビエーション	香港	+4	香港	+1
	ジェットスター・ジャパン	香港	+2		
	キャセイパシフィック航空	香港	+1	香港	+1
	香港エクスプレス	香港	+12	香港	+8
	香港航空	香港	-7		
台湾			-3		+7
	ピーチ・アビエーション	台北	-1		
	チャイナエアライン	高雄	+2	高雄	+2
	チャイナエアライン			台北	+5
	タイガーエア台湾	台北	-4		
東南アジア			+24		+28
	ジェットスター・ジャパン	マニラ	-1		
	セブパシフィック航空	マニラ	+1		
	ベトナム航空	ダナン	+7	ダナン	+7
	ベトジェットエア	ハノイ	+7	ハノイ	+7
	ベトジェットエア	ホーチミン	+7	ホーチミン	+7
	ジャクスケート	バンコク（ドンムアン）	+4	バンコク（ドンムアン）	+4
	エアアジアX	クアラルンプール	-4		
	ジェットスター・アジア航空	クラーク/シンガポール	+3		
	ジェットスター・アジア航空			マニラ/シンガポール	+1
	スクート	高雄/シンガポール	+1		
	ガルーダ・インドネシア航空	ジャカルタ	-1	ジャカルタ	+2
北米（ハワイ含む）			+12		-3
	日本航空	ホノルル	+7		
	ユナイテッド航空	サンフランシスコ	+2		
	エア・カナダ			バンクーバー	-6
	エアアジアX	ホノルル	+3	ホノルル	+3
欧州			+5		-2
	ルフトハンザドイツ航空	フランクフルト	+1		
	KLMオランダ航空	アムステルダム	+1		
	エールフランス航空	パリ	+1	パリ	-2
	フィンランド航空	ヘルシンキ	+2		
オセアニア・グアム			+2		+1
	ユナイテッド航空	グアム	-4		
	チエジュ航空	グアム	+6	グアム	-1
	カンタス航空	シドニー	+1	シドニー	+1
	ジェットスター航空	ケアンズ	-1	ケアンズ	-2
	ニュージーランド航空			オークランド	+3
その他					-1
	S7航空			ウラジオストク	-1
貨物便			+3		+4
	全日本空輸	貨物便	-2	貨物便	-2
	日本貨物航空	貨物便	-5		
	フェデラルエクスプレス	貨物便	+6	貨物便	+3
	シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ	貨物便	+1	貨物便	+1
	中国国際貨運航空	貨物便	+2	貨物便	+1
	中国貨運航空	貨物便	+1	貨物便	+1
計			1,356→1,451【+95便】		1,382→1,451【+69便】

国内定期旅客便 就航便数

地域	都市	ITAMI								KIX								KOBE								
		2017年冬期		2018年夏期		2018年冬期				2017年冬期		2018年夏期		2018年冬期				2017年冬期		2018年夏期		2018年冬期				
		計	JAL	JAC	ANA	IBEX	AMX	計	JAL	JTA	ANA	SFJ	peach	Jetstar	VNL	計	ANA	SKY	AIRDO	ADO						
北海道	札幌(新千歳)	10	10	10	4		6			15	15	14	3		2		6	3		6	6	6	1	3		2
	女満別									1																
	釧路									1	1						1									
	函館	2	2	2	1		1			1																
東北 信越	青森	6	6	6	3		3																			
	三沢	1	1	1	1																					
	秋田	6	6	6	3		3																			
	花巻	4	4	4	4																					
	山形	3	3	3	3																					
	仙台	14	14	15	8		5	2		3	3	3					3			2	2	2		2		
	福島	4	4	4			2	2																		
	新潟	10	10	10	4		3	3		1	1						1									
関東	成田	4	4	4	2		2		9	6	6					2	4									
	羽田	30	30	30	15		15		13	13	13	3		5	5				9	9	9	2	7			
	茨城																		2	2	2		2			
近畿 中国 四国	但馬	2	2	2		2																				
	隠岐	1	1	1	1																					
	出雲	5	5	4	4																					
	松山	12	12	12	3		9		1	1	1					1										
	高知	6	6	6			6				1						1									
九州	福岡	10	10	10	4		5	1		5	6	5		1		3	1									
	長崎	7	7	7	4		3		1	2	1					1			3	3	3		3			
	熊本	10	10	10	3		6		1		1						1									
	大分	7	7	7	3		3	1																		
	宮崎	11	11	11	5		6		1	2	2					2										
	鹿児島	13	13	13	7		6		2	2	3					3			2	2	2		2			
	屋久島	1	1	1		1																				
	奄美大島	1	1	1	1				1	1	1						1									
沖縄	那覇	5	5	5	2		3		13	14	13		3	4		4	2		5	6	5		2	3		
	石垣								3	3	3		1	1		1										
	宮古								1	2	1			1												
1日あたり便数		185	185	185	85	3	87	9	1	69	73	70	6	4	14	5	28	12	1	29	30	29	3	21	3	2
就航都市数		26	26	26	22	2	18	5	1	14	16	17	2	2	6	1	12	6	1	7	7	7	2	7	1	1

※臨時便・チャーター便を除く。
 ※各期のピーク時点便数を記載。(18Wのピークは12月)
 ■大阪国際空港 就航会社…日本航空 (JAL)、日本エアコミューター (JAC)、全日本空輸 (ANA)、アイベックスエアラインズ (IBEX)、天草エアライン (AMX)
 ■関西国際空港 就航会社…日本航空 (JAL)、日本トランスオーシャン航空 (JTA)、全日本空輸 (ANA)、スターフライヤー (SFJ)、ピーチ・アビエーション (APJ)、ジェットスター・ジャパン (JJP)、バニラ・エア (VNL)
 ■神戸空港 就航会社…全日本空輸 (ANA)、スカイマーク (SKY)、AIRDO (ADO)、ソラシドエア (SNJ)

国内定期貨物便 就航便数

- 関西-那覇 週5便 (片道) 運航会社: A N A
- 那覇-関西 週5便 (片道) 運航会社: A N A



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2018年度上期利用状況 及び 2018年冬期スケジュールについて

2018.10.23



Shaping a New Journey



目次

 **2018年度上期（4-9月） 利用状況**

 **2018年冬期スケジュールについて**

 **質疑応答**

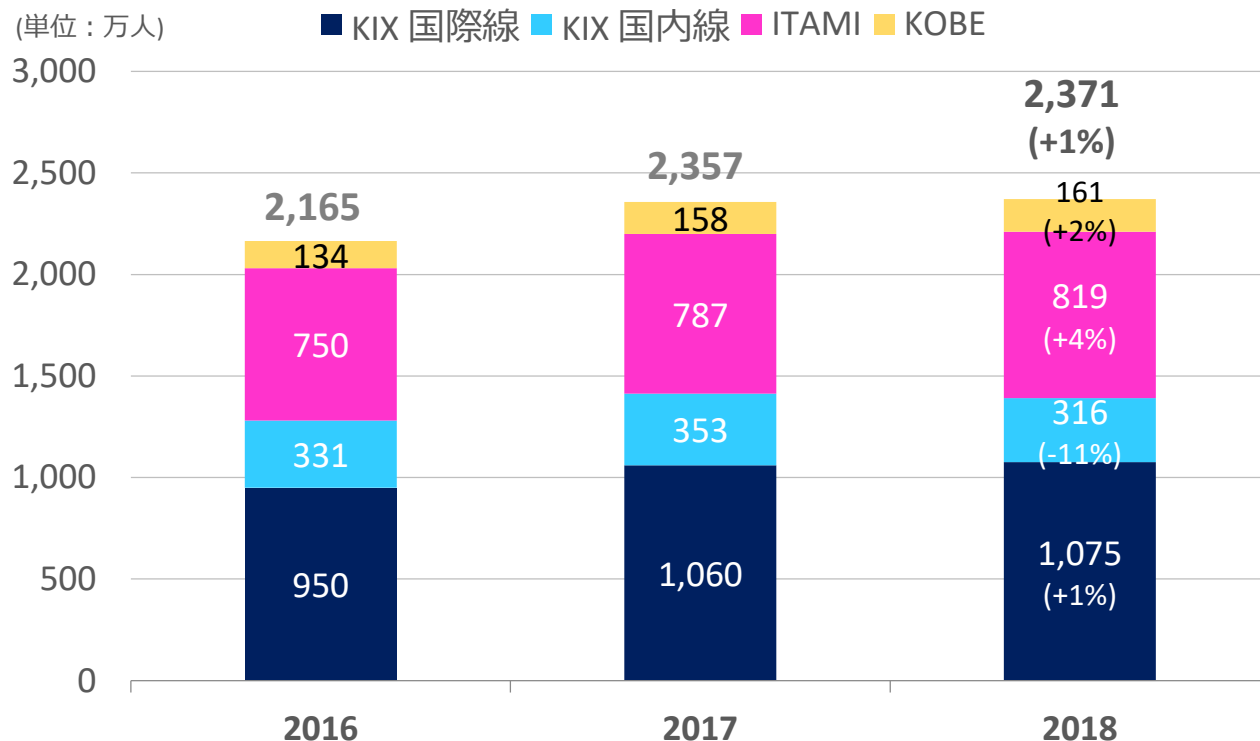


2018年度上期（4-9月） 利用状況

KAP3空港 2018年度上期 4-9月 旅客数実績

3空港合計の総旅客数は2,371万人

2016-2018年度上期累計 旅客数実績



※()内は前年同期比、またITAMIの2016年度、2017年度旅客数は幼児旅客数を除く

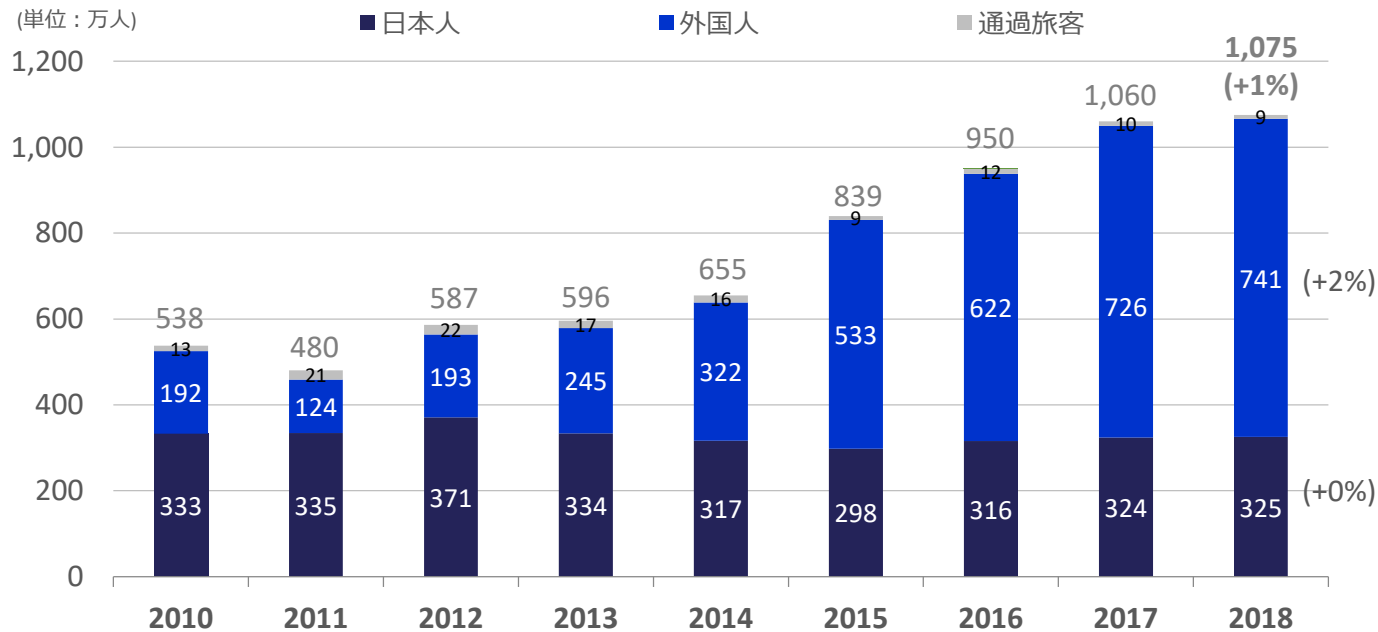
- ✈ 台風・地震の影響があったものの、3空港合計の旅客数は前年を超え、年度上期として過去最高。(ITAMIの幼児旅客数を除いた場合、2018年度上期旅客数は3空港合計で2,360万人、前年比+0.1%)
- ✈ KIX国際線、KOBE国内線も年度上期として過去最高。
- ✈ KIX国内線はLCCの路線再編もあり、前年を下回る。
- ✈ ITAMI国内線は機材大型化等の影響で、前年を4%上回る。

国際線(KIX) 日本人/外国人旅客実績

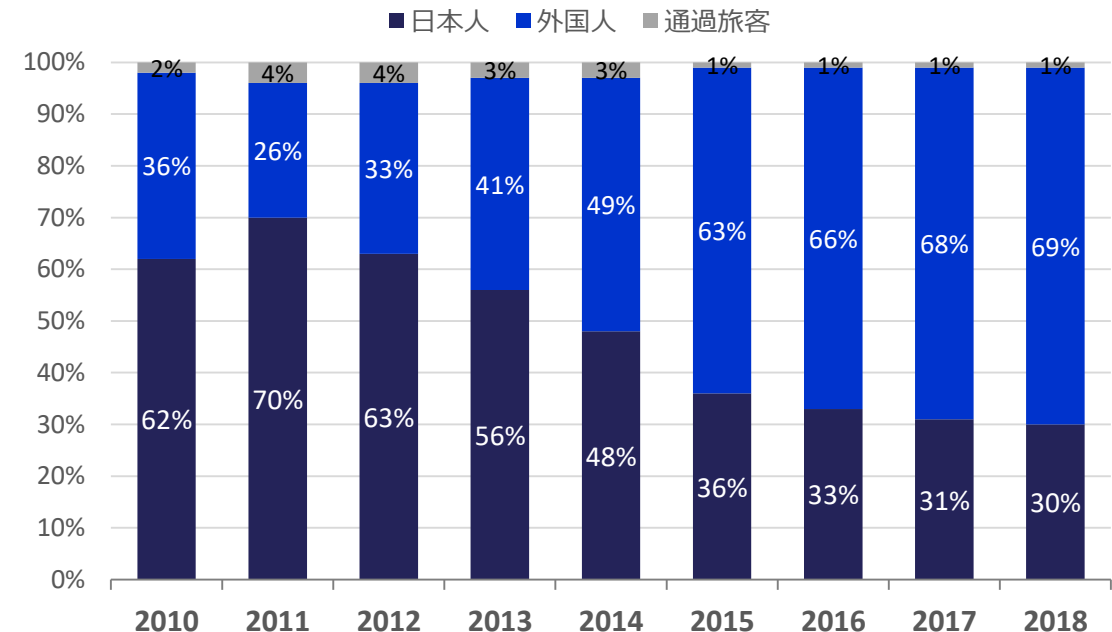
外国人旅客は年度上期として過去最高の741万人、日本人旅客も8月まで好調を維持

- ✧ 外国人旅客（インバウンド）数は4-8月まで前年+11%。大阪北部地震・台風21号の影響があり前年+2%、年度上期として過去最高の741万人。
- ✧ 日本人旅客（アウトバウンド）数は4-8月までは前年+12%。台風の影響で9月は大きく前年を下回るも、年度上期合計は前年から微増の325万人。

国際線 日本人/外国人/通過旅客数 年度上期累計推移



国際線 日本人/外国人/通過旅客 割合

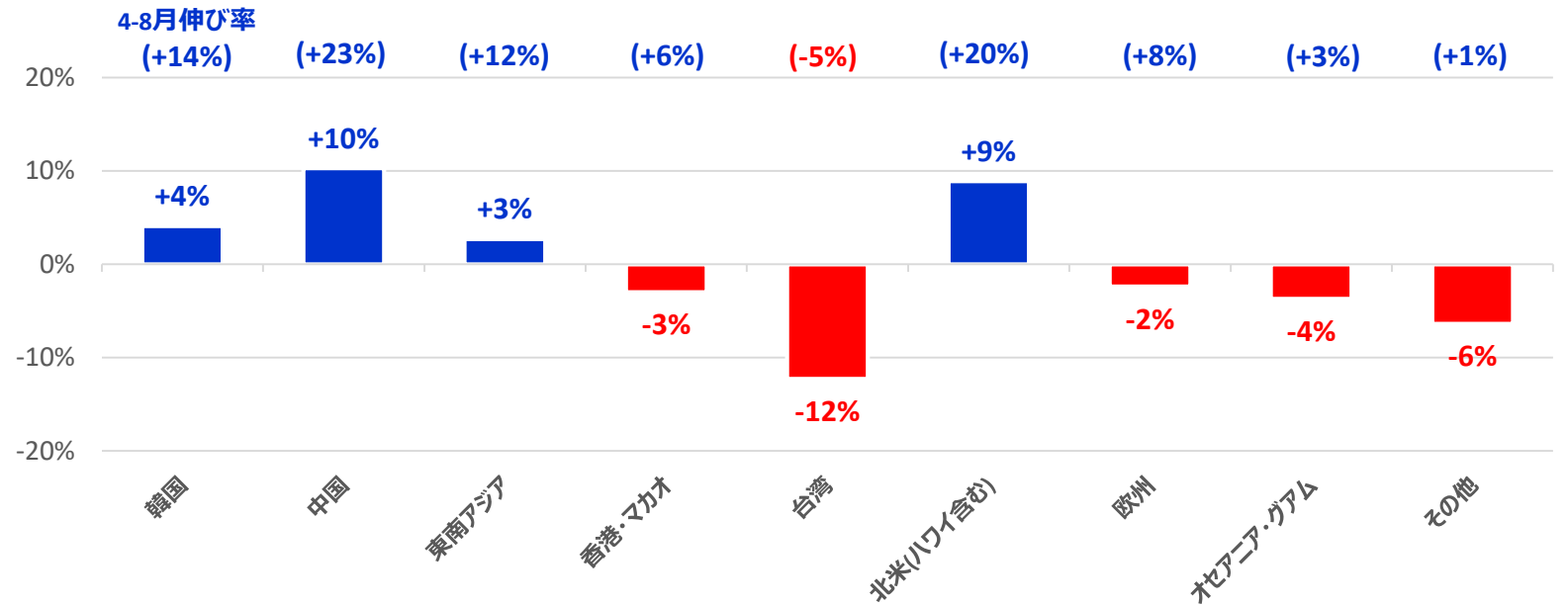
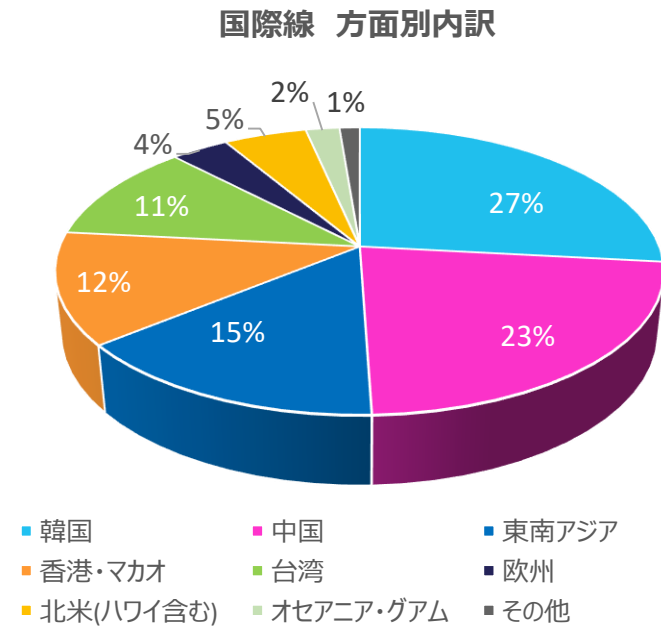


国際線(KIX) 方面別実績

中国路線、ハワイ路線が好調

- ✦ 中国方面は前年を10%上回り、成長を牽引。韓国、香港は6月に発生した大阪北部地震の影響を受け、伸び率が鈍化。
- ✦ 北米の中でも、ハワイは昨年からのエアアジアX・スクートの就航などにより供給座席数が大幅に増加し、旅客数も大幅に増加（前年+20%）。日本人旅客数の伸びに貢献。

国際線旅客数 方面別伸び率（前年同期比）

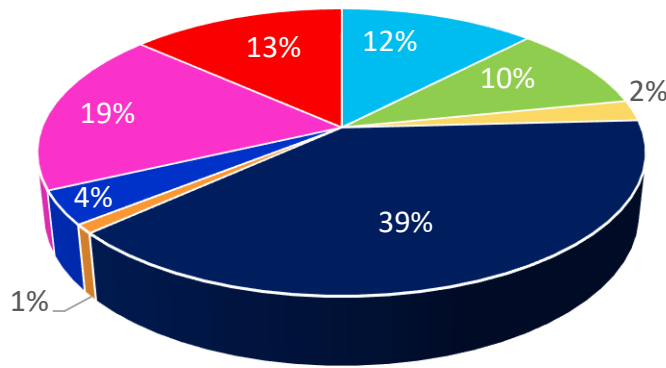


3空港合計 国内線方面別実績

3空港合計でほぼ前年横ばいの1,296万人

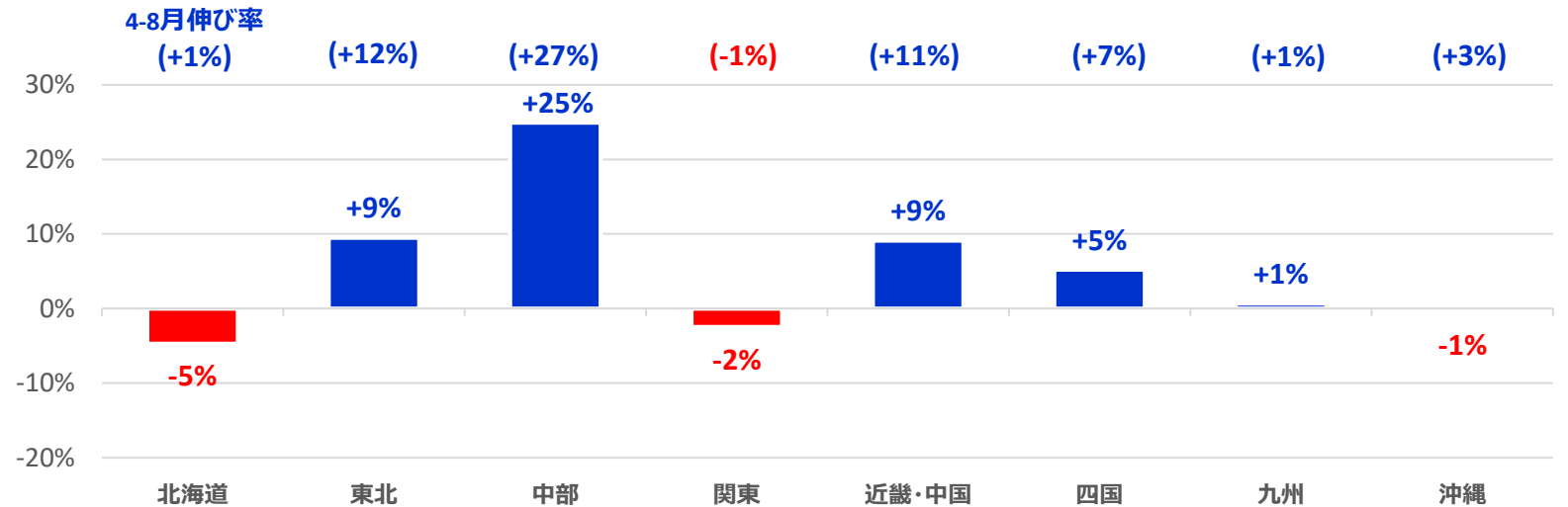
- ✧ 新潟への新規就航のあった中部方面は大幅増。
- ✧ 関東方面のマイナスはKIXにおけるLCC路線再編による成田線減便の影響。
- ✧ 北海道方面においては、9月に発生した地震の影響により前年割れ。

国内線旅客数 方面別内訳



- 北海道
- 東北
- 中部
- 関東
- 近畿・中国
- 四国
- 九州
- 沖縄

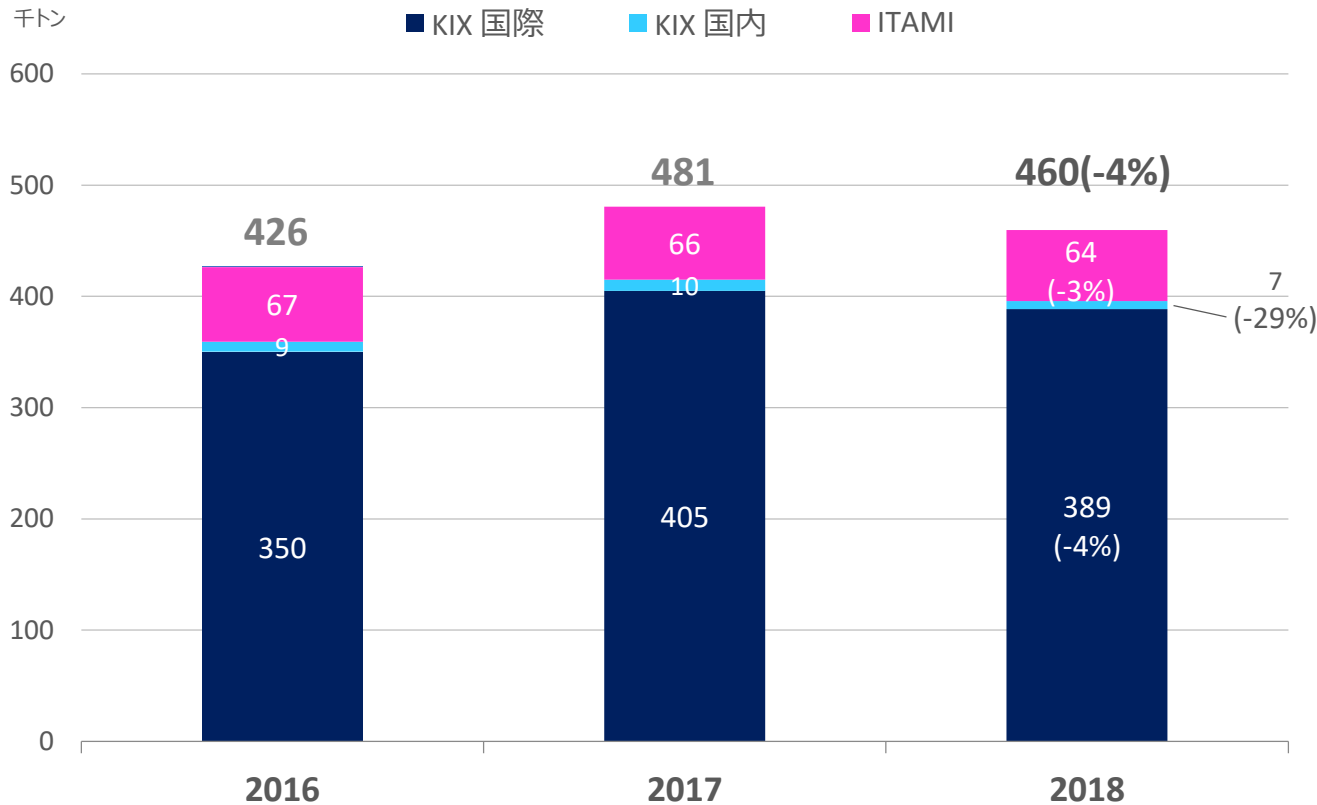
国内線旅客数 方面別伸び率（前年同期比）



2018年度上期におけるKAP貨物実績

KIXの国際貨物取扱量は39万トン、前年-4%の減となるも、2018年8月までは25カ月連続で前年超え

2016-2018年度上期累計 貨物量実績

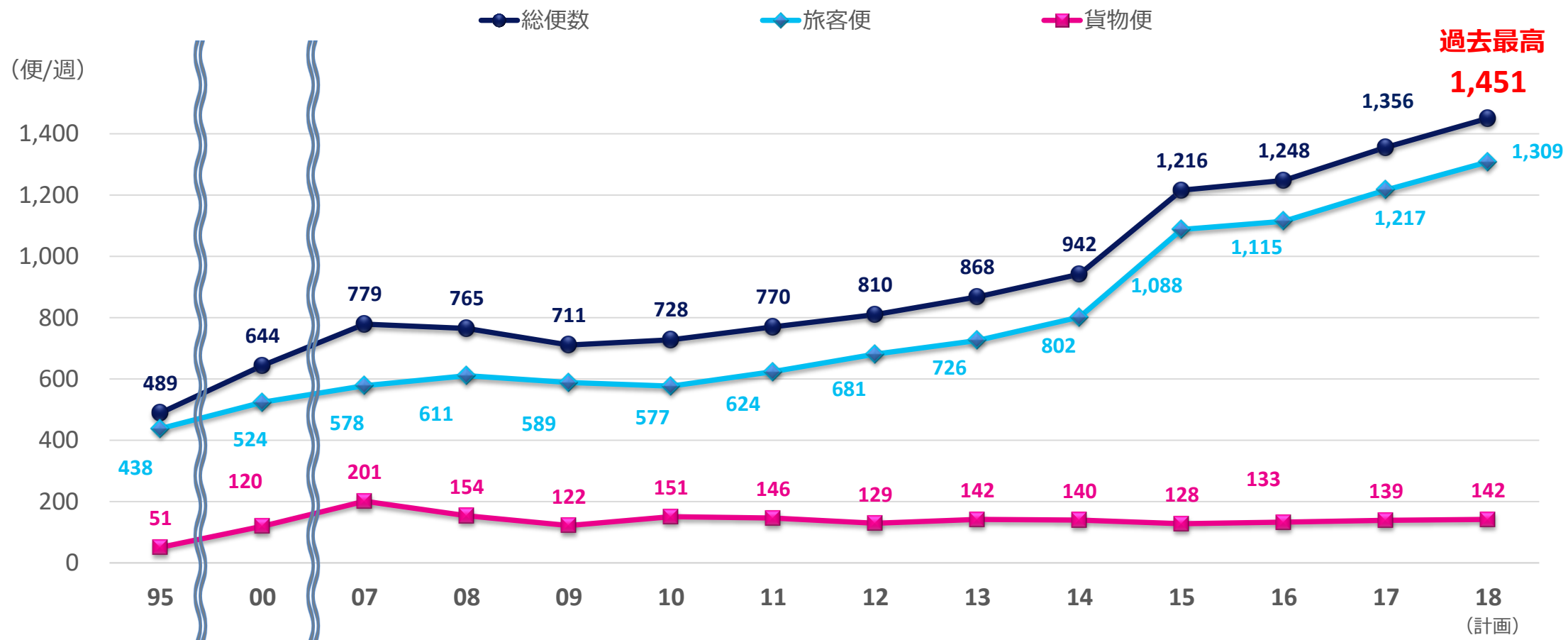


- ✈ 貨物量は、台風の影響があり前年は下回るものの、2016年度を上回った。
- ✈ 国際貨物量は、4-8月までは前年+9%と好調を維持、2016年8月から2018年8月まで、25カ月連続で前年を上回った。
- ✈ 直近1週間（10月15日から21日）の実績として、国際貨物便は週263便（往復）が運航、計画に対する運航率は88.0%。



2018年冬期スケジュールについて

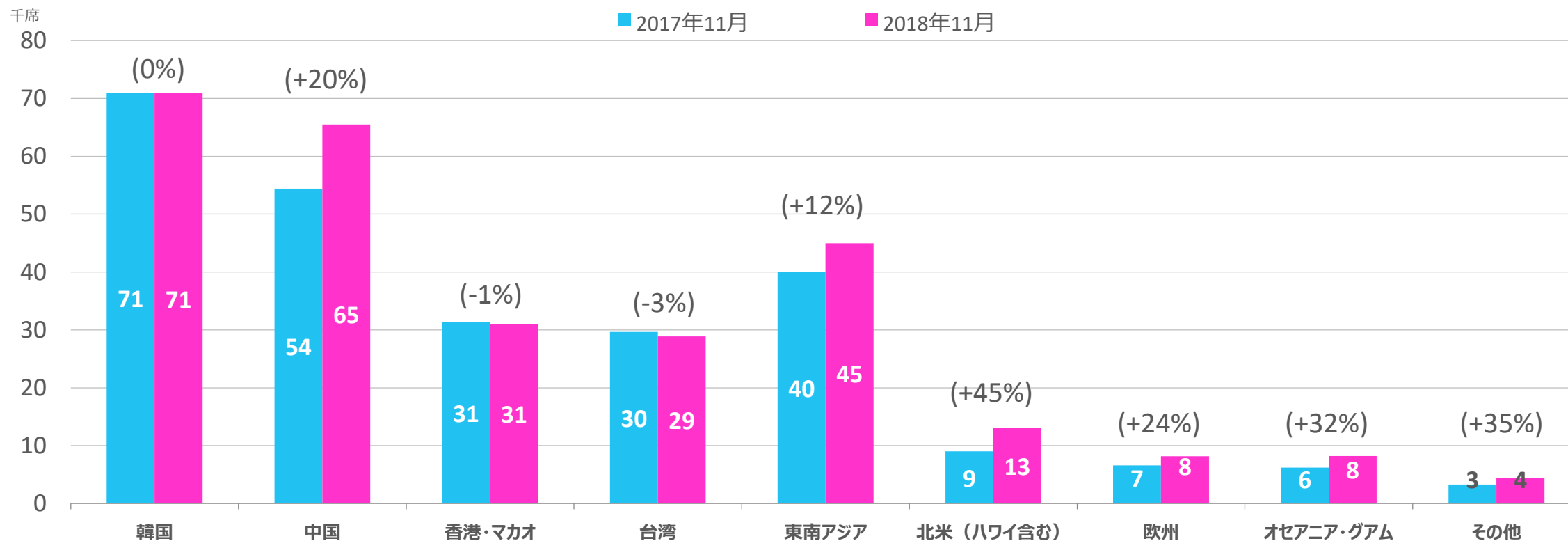
関西国際空港における2018年冬期スケジュール国際定期便 就航便数



冬スケジュール 国際旅客便 方面別 提供座席数

提供座席数の合計は2017年11月と比較して、9%成長の見込み

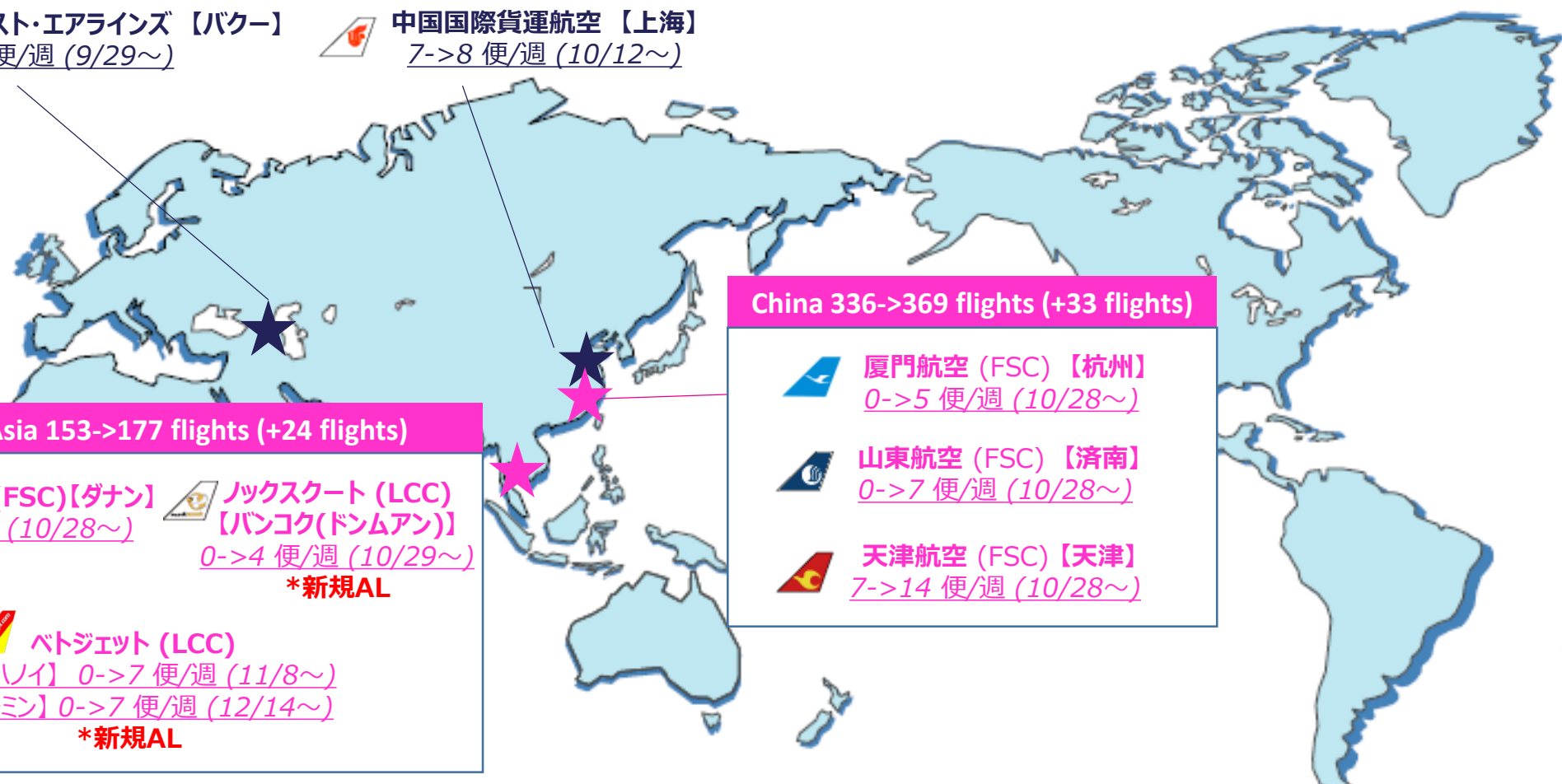
方面別提供座席数 (11月, 週あたり平均値)



※1 () 内は前年比 ※2 その他はインド・中東を指す

国際定期便ネットワーク拡大

 シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ【バクー】
 1->2 便/週 (9/29~)
  中国国際貨運航空【上海】
 7->8 便/週 (10/12~)



Southeast Asia 153->177 flights (+24 flights)

 ベトナム航空 (FSC)【ダナン】
 0->7 便/週 (10/28~)
  ノックスクート (LCC)【バンコク(ドンムアン)】
 0->4 便/週 (10/29~)
***新規AL**

 ベトジェット (LCC)
 【ハノイ】 0->7 便/週 (11/8~)
 【ホーチミン】 0->7 便/週 (12/14~)
***新規AL**

China 336->369 flights (+33 flights)


 厦門航空 (FSC)【杭州】
 0->5 便/週 (10/28~)

 山東航空 (FSC)【済南】
 0->7 便/週 (10/28~)

 天津航空 (FSC)【天津】
 7->14 便/週 (10/28~)

 旅客便
 貨物便

国内定期便ネットワーク拡大

 ジェットスター・ジャパン (LCC)
KIX = 熊本
0->7 便/週 (10/27~)
*路線再開(3年ぶり)

 ジェットスター・ジャパン (LCC)
KIX = 高知
0->7 便/週 (12/19~)
*新規就航





質疑応答